

2. 環境問題の関心（問2）

現在関心の高い環境問題は、「地球温暖化」「オゾン層の破壊」「大気汚染」「不法投棄など廃棄物の不適切な処理」等である。一方、「悪臭」「地盤沈下」に対しては関心が低い。

また、前回と比較して「地球温暖化」「開発途上国の大気汚染や水質汚濁などの公害環境問題」といった地球規模での環境問題に対する関心や「大気汚染」「騒音・振動」「悪臭」という身近な問題に対する関心が高まる一方、他の項目への関心は概して低下した。

環境問題への関心の有無を尋ねたところ、最も関心が高い項目は「地球温暖化」(80%)、次いで「オゾン層の破壊」(59%)であり、これらはいずれも地球規模での環境問題である。

これらに次いで関心の高い項目は「大気汚染」(55%)「不法投棄など廃棄物の不適正な処理」(54%)である。

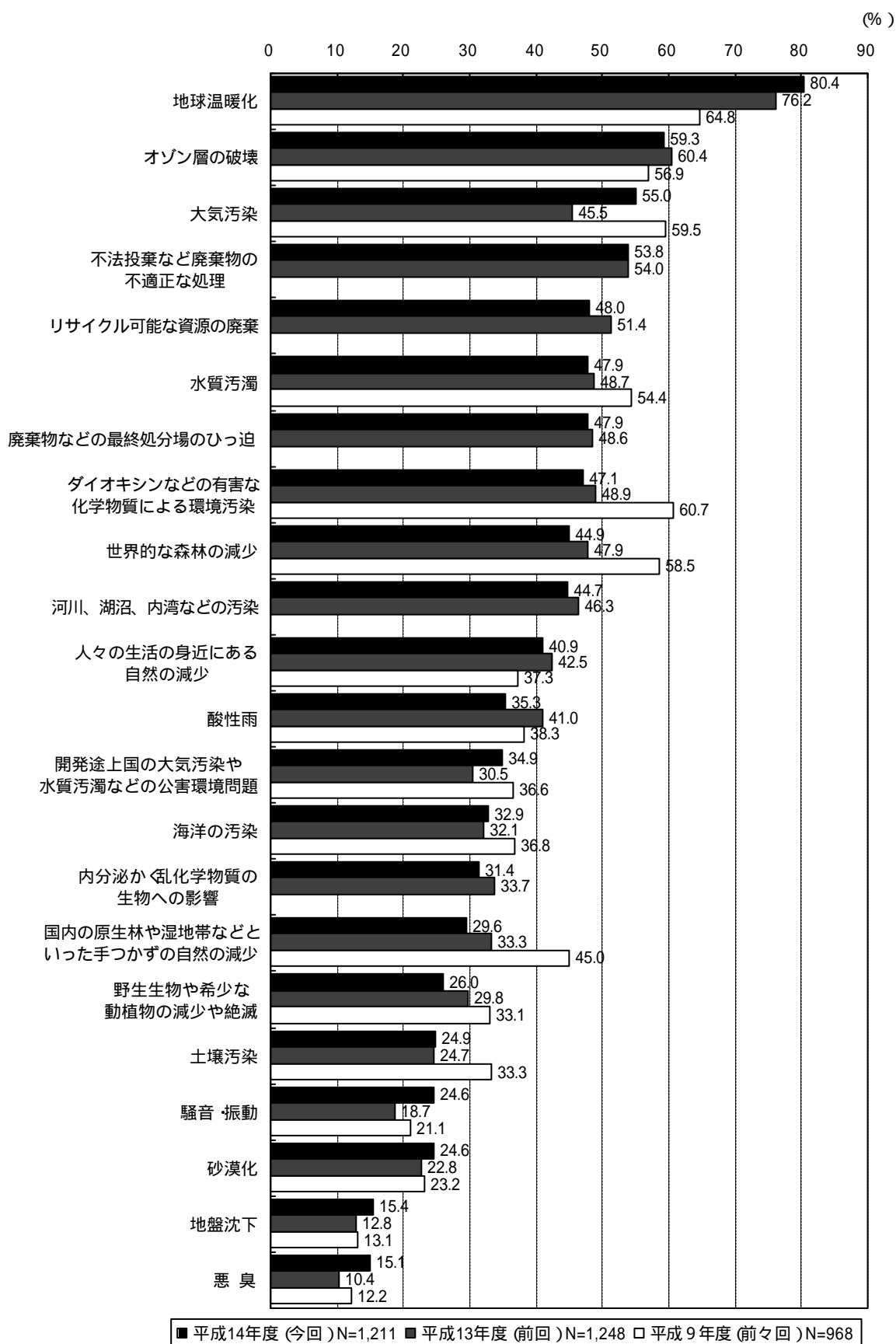
過半数の人が関心を示した項目は以上の4項目である。また、他に半数近くの人が関心を示した項目は以下のとおりである。

- ・ 「水質汚濁」(48%)
- ・ 「廃棄物などの最終処分場のひっ迫」(48%)
- ・ 「ダイオキシンなどの有害な化学物質による環境汚染」(47%)

一方、関心が低い項目としては「悪臭」(15%)、「地盤沈下」(15%)であり、これらはかつて公害として問題になったものである。

前回の調査と比較すると、「地球温暖化」「開発途上国の大気汚染や水質汚濁などの公害環境問題」といった地球規模での環境問題と同時に「大気汚染」「騒音・振動」「悪臭」という身近な都市問題の関心も強まっている。

【図表 2-1-1】環境問題の関心（全体、時系列：複数回答）



環境問題の関心について、性別にみると、男性の方が女性よりも関心の比率が5%以上高い項目は存在しない。これに対し、女性の方が男性よりも関心の比率が5%以上高い項目としては「土壌汚染」「リサイクル可能な資源の廃棄」「ダイオキシンなどの化学物質による環境汚染」「人々の生活の身近にある自然の減少」がある。

関心の比率が全体平均よりも10%以上高い項目を年齢別にみた結果を以下に示す。

30代「水質汚濁」

「海洋の汚染」

「内分泌かく乱化学物質（環境ホルモン）の生物への影響」

40代「オゾン層の破壊」

20代・50代・60代は、ほぼ全体平均と同じ傾向を示している。

関心の比率が全体平均よりも10%以上高い項目を職業別にみた結果を以下に示す。

商工サービス「酸性雨」

自由業「大気汚染」

「海洋の汚染」

「不法投棄など廃棄物の不適正な処理」

「人々の生活の身近にある自然の減少」

「野生生物や希少な動植物の減少や絶滅」

「世界的な森林の減少」

団体職員「リサイクル可能な資源の廃棄」

「野生生物や希少な動植物の絶滅」

学生「二酸化炭素の増加による気候変動（地球温暖化）」

「自動車や工場などによる大気汚染」

「家庭や工場排水などによる水質汚濁」

「土壌汚染」

「内分泌かく乱化学物質（環境ホルモン）の生物への影響」

「国内の原生林や湿地帯などといった手つかずの自然の減少」

「砂漠化」

業種別には自由業と学生において、環境問題への関心が高いことが伺われる。

【図表 2-1-2】環境問題の関心（性別、年齢別、職業別：複数回答）

単位：%

	性別			年齢別							職業別												
	全体	男性	女性	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	農林漁業	商工サービス	自由業	会社役員、会社経営	会社員	公務員	団体職員	学生	パート・アルバイト	専業主婦	無職	その他		
調査数 (N)	1,211	574	608	104	151	188	307	284	152	43	99	41	25	299	65	20	15	125	232	183	36		
地球温暖化	80.4	79.8	81.1	83.7	85.4	81.9	80.8	76.4	77.0	69.8	84.8	80.5	84.0	80.9	83.1	80.0	100.0	78.4	81.5	76.0	80.6		
オゾン層の破壊	59.3	58.5	59.9	63.5	66.9	70.2	62.9	48.6	46.7	37.2	63.6	68.3	60.0	63.2	66.2	50.0	93.3	64.0	58.2	48.1	50.0		
大気汚染	55.0	52.6	57.1	55.8	51.0	52.1	58.0	53.5	57.2	39.5	55.6	65.9	60.0	50.8	53.8	40.0	73.3	55.2	60.3	54.1	58.3		
不法投棄など廃棄物の不適正な処理	53.8	55.2	52.0	50.0	53.0	48.9	57.3	54.9	53.3	44.2	52.5	68.3	56.0	52.8	58.5	60.0	46.7	50.4	55.2	54.1	50.0		
リサイクル可能な資源の廃棄	48.0	44.9	51.0	44.2	53.6	42.6	47.2	48.6	50.7	51.2	41.4	51.2	40.0	44.1	52.3	70.0	53.3	50.4	52.2	44.8	55.6		
水質汚濁	47.9	47.4	48.7	45.2	53.0	43.1	52.8	44.4	48.0	46.5	51.5	48.8	36.0	46.5	52.3	40.0	60.0	49.6	48.7	45.4	55.6		
廃棄物などの最終処分場の逼迫	47.9	47.4	47.7	34.6	48.3	41.5	52.4	48.2	53.3	44.2	51.5	53.7	44.0	45.8	50.8	40.0	33.3	41.6	50.9	47.5	61.1		
ダイオキシンなどの有害な化学物質による環境汚染	47.1	41.8	51.8	37.5	54.3	44.7	50.8	46.1	42.8	44.2	43.4	36.6	52.0	47.8	44.6	50.0	53.3	48.8	53.0	43.2	36.1		
世界的な森林の減少	44.9	43.6	46.1	46.2	47.7	42.0	47.9	42.3	42.1	30.2	43.4	56.1	36.0	49.8	49.2	35.0	46.7	45.6	44.0	39.9	41.7		
河川、湖沼、内湾などの汚染	44.7	46.3	42.3	44.2	43.0	39.9	51.5	39.4	44.7	30.2	42.4	51.2	40.0	46.8	46.2	45.0	46.7	43.2	40.9	48.6	38.9		
人々の生活の身近にある自然の減少	40.9	37.3	43.8	47.1	34.4	39.9	43.3	41.5	34.9	41.9	36.4	51.2	44.0	39.8	44.6	40.0	26.7	41.6	45.7	35.0	36.1		
酸性雨	35.3	33.8	35.7	27.9	35.1	39.9	35.8	32.7	34.2	18.6	46.5	41.5	44.0	35.8	24.6	35.0	20.0	35.2	34.1	35.0	25.0		
開発途上国の大気汚染や水質汚濁などの公害環境問題	34.9	34.3	35.5	25.0	31.1	27.7	40.7	37.7	37.5	32.6	34.3	43.9	36.0	34.4	21.5	30.0	26.7	32.0	38.8	35.0	47.2		
海洋の汚染	32.9	30.7	34.9	37.5	45.7	33.5	32.2	27.5	27.0	23.3	37.4	43.9	40.0	35.1	35.4	25.0	33.3	36.8	32.8	24.0	25.0		
内分泌かく乱化学物質の生物への影響	31.4	29.3	33.6	29.8	41.7	32.4	34.2	25.4	26.3	27.9	37.4	36.6	36.0	29.4	36.9	40.0	60.0	28.0	32.3	26.2	30.6		
国内の原生林や湿地帯などといった手つかずの自然の減少	29.6	29.4	29.6	29.8	34.4	28.7	29.3	26.4	31.6	16.3	31.3	34.1	28.0	33.1	23.1	35.0	46.7	25.6	28.0	27.9	38.9		
野生生物や希少な動植物の減少や絶滅	26.0	26.8	25.7	35.6	33.8	25.0	22.8	24.3	23.7	16.3	26.3	36.6	24.0	30.1	26.2	45.0	33.3	22.4	23.3	24.0	22.2		
土壌汚染	24.9	21.4	28.1	22.1	25.2	19.1	30.3	22.9	25.7	23.3	21.2	22.0	28.0	25.1	21.5	15.0	40.0	23.2	31.5	21.9	13.9		
騒音 振動	24.6	22.5	26.8	22.1	17.9	19.1	25.7	27.1	33.6	30.2	23.2	31.7	16.0	17.4	23.1	15.0	13.3	26.4	31.5	27.9	27.8		
砂漠化	24.6	24.6	23.7	29.8	26.5	25.5	22.5	23.6	21.1	18.6	27.3	26.8	32.0	25.8	29.2	20.0	46.7	24.8	20.7	22.4	13.9		
地盤沈下	15.4	13.1	17.9	15.4	11.3	14.4	16.0	17.3	17.1	-	17.2	17.1	16.0	13.4	12.3	10.0	13.3	18.4	22.0	12.6	16.7		
悪臭	15.1	14.5	16.0	15.4	14.6	13.8	15.6	15.1	16.4	18.6	17.2	12.2	8.0	13.7	10.8	5.0	-	16.8	15.5	19.7	13.9		
その他	3.9	4.9	2.6	1.9	6.0	1.1	2.9	5.3	4.6	7.0	4.0	4.9	8.0	4.0	1.5	5.0	6.7	0.8	3.4	4.9	-		
無回答	0.9	1.4	0.5	1.0	-	0.5	1.0	1.4	1.3	-	1.0	2.4	4.0	1.0	-	-	-	0.8	-	1.1	2.8		

環境問題の関心について地域別にみると、関心の比率が全体平均より 10%以上高い項目はない。関東や近畿では全体平均を上回る項目が多いが、北海道・東北、北陸や九州では全体平均を下回る項目が多く、巨大都市圏を擁する地域の方が概して環境問題への関心が高い。関心の比率が全体平均より 5%以上高い項目をあげると、以下の通りである

関東「リサイクル可能な資源の廃棄」

「廃棄物など最終処分場のひっ迫」

「ダイオキシンなどの有害な化学物質による環境汚染」

「土壌汚染」

「悪臭」

近畿「騒音・振動」

中国・四国「土壌汚染」「不法投棄など廃棄物の不適正な処理」

都市規模別にみても地域別と同様に、関心の比率が全体平均より 10%以上高い項目はないが、都市規模が大きいほど関心が高くなる項目は、「大気汚染」「リサイクル可能な資源の廃棄」「酸性雨」「開発途上国の大気汚染や水質汚濁などの公害環境問題」の 4 項目。関心の比率が全体平均より 5%以上高い項目は政令指定都市の「土壌汚染」である。

【図表 2-1-3】環境問題の関心（地域別、都市規模別：複数回答）

単位：%

	全体	地域別							都市規模別			
		北海道・東北	関東	北陸	東海	近畿	中国・四国	九州	政令指定都市	10万人以上	10万人未満	町村
調査数 (N)	1,211	163	218	66	167	181	116	133	179	342	311	212
地球温暖化	80.4	75.5	84.4	75.8	81.4	80.7	75.0	82.7	82.7	78.7	80.1	80.2
オゾン層の破壊	59.3	55.2	60.1	57.6	60.5	63.0	62.9	57.9	61.5	61.7	57.6	58.5
大気汚染	55.0	53.4	55.0	56.1	57.5	56.4	54.3	50.4	58.7	56.1	53.1	51.9
不法投棄など廃棄物の不適正な処理	53.8	55.8	57.8	50.0	53.9	51.9	59.5	51.9	55.3	56.7	51.4	56.1
リサイクル可能な資源の廃棄	48.0	49.7	57.3	45.5	44.9	48.1	43.1	50.4	52.0	51.8	46.9	46.7
水質汚濁	47.9	49.7	50.9	40.9	52.1	46.4	50.0	45.9	52.0	52.0	44.4	47.2
廃棄物などの最終処分場の逼迫	47.9	46.0	57.8	45.5	44.9	45.3	49.1	45.9	45.3	50.9	46.6	50.0
ダイオキシンなどの有害な化学物質による環境汚染	47.1	44.2	52.3	36.4	44.9	50.8	47.4	39.8	49.2	49.1	43.1	44.8
世界的な森林の減少	44.9	41.1	50.0	39.4	40.7	49.7	41.4	50.4	41.3	47.1	46.0	45.8
河川、湖沼、内湾などの汚染	44.7	40.5	46.8	45.5	49.1	42.5	49.1	43.6	43.6	45.0	44.4	48.1
人々の生活の身近にある自然の減少	40.9	36.8	39.4	33.3	49.1	40.9	45.7	39.8	39.7	43.3	40.5	40.1
酸性雨	35.3	31.9	39.9	31.8	35.3	36.5	32.8	32.3	37.4	36.8	34.1	31.6
開発途上国の大気汚染や水質汚濁などの公害環境問題	34.9	33.1	43.1	42.4	32.9	34.8	31.9	30.1	36.9	36.5	35.0	33.5
海洋の汚染	32.9	31.9	33.5	24.2	35.9	37.0	36.2	34.6	34.6	32.7	33.4	36.8
内分泌かく乱化学物質の生物への影響	31.4	22.1	37.6	28.8	34.1	32.6	37.1	21.8	34.1	30.4	31.2	29.7
国内の原生林や湿地帯などといった手つかずの自然の減少	29.6	25.8	30.3	27.3	32.9	29.8	33.6	27.8	33.0	30.4	27.0	30.2
野生生物や希少な動植物の減少や絶滅	26.0	26.4	24.8	30.3	29.3	27.1	25.0	21.8	25.7	28.4	25.4	24.1
土壌汚染	24.9	20.9	30.3	21.2	25.7	24.9	30.2	18.0	30.7	24.6	23.2	23.6
騒音・振動	24.6	25.8	27.5	28.8	18.6	29.8	26.7	22.6	26.3	28.1	24.8	22.2
砂漠化	24.6	24.5	28.4	22.7	24.0	26.5	23.3	21.8	25.1	24.6	25.7	24.5
地盤沈下	15.4	14.1	18.3	15.2	9.6	19.3	17.2	14.3	14.0	19.9	15.4	10.4
悪臭	15.1	15.3	21.6	18.2	13.8	13.8	12.9	11.3	17.3	18.1	11.9	15.1
その他	3.9	5.5	2.3	6.1	3.0	3.9	1.7	3.8	3.4	4.4	3.2	2.8
無回答	0.9	-	0.5	6.1	0.6	1.7	-	0.8	-	0.6	1.9	0.9